



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

米トランプ政権が仕掛けた米中貿易戦争は落とし所を探りあぐねる中、報復合戦の睨み合いが続いていて、金融市場の懸念材料として横たわったままですが、こうした膠着状況が当面の楽観ムードを優勢にして、8月後半は米日欧株式市場がじわりじわりと値を上げて、とりわけ企業業績が好調な米国では再び最高値圏に水準を戻しています。

中間選挙を控えたトランプ大統領は、対中以外にも想定外の発言や行動が活発で、自国の利上げ路線に圧力をかけ、それが株式市場の追い風となる一方で、トルコには政治的圧力でトルコリラの暴落を誘発させて、新興国市場の資金フローを一層混乱させるなど、世界の金融マーケットがトランプ氏の挙動に翻弄されている状況です。

世界経済はこの1年余り順調な拡大を続けて来ていますが、米中の更なる関税引き上げ懸念から企業間取引が停滞気味で、世界の貿易量拡大基調が止まるなど徐々にマクロ経済への影響も顕在化し始めていて、トルコに端を発した新興国リスクも内在したまま、不安定な外部環境は今後も継続しそうです。

とは言えグローバル化構造は米中摩擦を機会と捉える経済代替機能をしっかり備えていて、長期的な世界経済全体の成長軌道を妨げるものではなく、短絡的な保護主義は米国にも決してプラス効果を及ぼさず、中間選挙後には徐々に収束へと動くのではないのでしょうか。そして相場上昇に伴って次に起きる価格調整は健全な循環でもあり、長期投資家にとっては投資行動を変えることなくじっくりと仕込んで行けば良いわけで、「セゾン号」の長期運用も粛々と地球経済の成長軌道を捉えて巡航を続けています。

乗客の皆さまもこの先に環境変化があっても、悠然と積立投資を継続して行くことが肝要であることは言うまでもありません。

代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号
加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

8月の市場動向

株式：【新興国を中心に先行きへの不透明感が強まるなかで、米国の株式市場は上昇したものの、他の地域は力強さを欠く展開】

米国との貿易交渉に進展が見られず、中国経済の先行きに対する懸念が強まったほか、米国との関係悪化をきっかけにトルコの経済危機への警戒が高まり、米国以外の株式市場が力強さを欠く動きとなった一方、米国の株式市場は堅調な企業業績を背景に上昇しました。

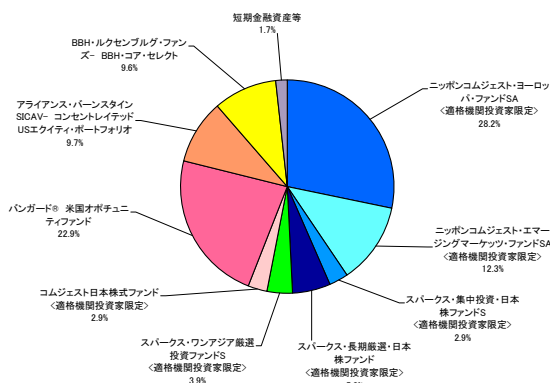
為替：【新興国経済の混乱への警戒が強まったことを受けて多くの新興国通貨が下落する一方で主要国通貨が堅調な展開】

景気の先行きに対する相対的に明るい見方が維持されドルが堅調な展開となる一方で、トルコやイタリア情勢への懸念を背景にユーロがやや軟調な展開となりました。円は金融緩和の拡大観測が後退するなかでリスク選好が後退して上昇し、対ドル、対ユーロで円高となりました。

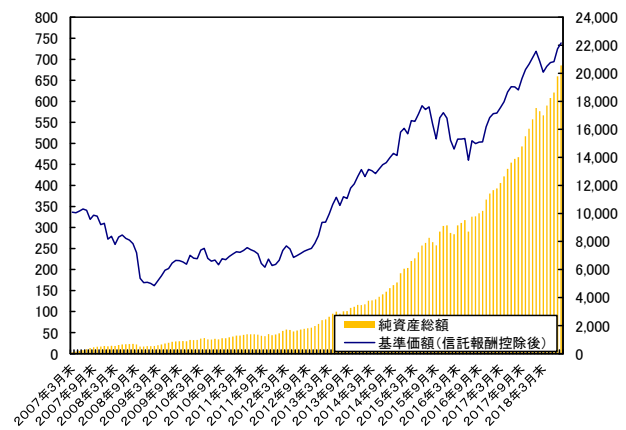
基準価額と純資産総額及び騰落率（2018年8月31日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
22,167円	685.5億円	+121.67%	+1.94%	+6.20%	+17.80%

資産配分状況(2018年8月31日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



8月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、コムジェスト・エマーシングマーケット・ファンド、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド、米国オポチュニティファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド、スパークス・集中投資・日本株ファンド、コムジェスト日本株式ファンド、BBH・コア・セレクト・ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月からほぼ変わらず、月末時点で約1.7%です。

ファンドマネジャーからの一言

投資では一般的に、目先の収入や短期的な成果を優先すると長期的な成果が犠牲となり、長期的な成果を優先すると目先の収入や短期的な成果が犠牲となります。

投資を行う目的は、人や組織によって異なりますが、当ファンドは長期的な資産の成長を目的として投資を行っており、短期的な株式市場の見通しに基づいて、投資方針を変化させることはないため、状況によっては、市場の上昇に後れを取る場合もあります。

一方で、長期的な視点で投資対象の価値を見極め、十分に割安な価格で購入することができていれば、長期的には市場全体に投資した場合よりも安定的に資産の成長を図ることができることと認識しており、長期的な視点での個別銘柄の選択に特化したファンドへの投資を通じて、長期的に資産を成長させることができるように努めています。

当ファンドでは引き続き、幅広い地域への分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの継続的な投資を通じた長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目録見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

◆換金時に係る費用

換金手数料はかかりません。なお、換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5724%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

◆その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することができません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目録見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目録見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）